

TEEN's BOOK LETTER from Sakyo & Iwakura Library

新しい年が幕を開けました！
2019年、最初の特集は「京都発見」です。
図書館の本を通して、身近な“京都”という存在を見つめなおしてみたいかがでしょうか。
新しい発見があること、間違いなしです！

図書館司書の「この1冊」



『森見登美彦の 京都ぐるぐる案内』

森見登美彦／著 新潮社(新潮文庫)

◆ おすすめコメント ◆

小説家・森見登美彦によって描かれる、京都で繰り広げられる数々の不思議な物語、アニメ化や映画化もされた『四畳半神話大系』『夜は短し歩けよ乙女』『有頂天家族』などの名場面を、素敵な写真でぐるぐる案内してくれる京都ガイドブックです。写真にはその舞台となった場面の引用が添えられていますので、ファンの方はもちろん、まだ森見作品を読んだことがないという人でも、独特のちょっぴりミステリアスな京都を垣間見ることができます。さらに随筆2編「登美彦氏、京都をやや文学的にさまよう」「京都捻転紀行」が収録されており、森見ワールド的京都を堪能できます。森見氏の著作とあわせて、京都巡りにおすすめの1冊です。ぜひ、新たな京都の扉を開いてみてください！

！！京都発見！！

『GEAR[ギア] Another Day 五色の輪舞』
小原啓渡／原案 菅浩江／文
山田章博／絵 出版ワークス

暗い世界にたたく女の子はふいにあらわれた小さな光を追って古びたおもちゃ工場にたどりつく。そこでは赤・青・黄・緑のロボロイド達が何を作るでもなくただひたすらに働き続けていた。いつのまにか人形になってしまった女の子とロボロイド達の出会いがいくつもの奇跡となって輝きはじめる。京都三条で公演されている世代や国籍を越えて楽しむことのできるナンバーバル(=言葉にたよらない)パフォーマンス「ギア-GEAR-」を小説にした物語。新しい京都のエネルギーを感じてもらえる一冊です。



『どうせ私は狐の子』

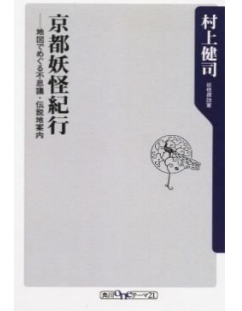
森田季節／著
TOブックス

鴨川のほとりに住む小学5年生の大鳥(おおとり)樟葉(くずは)は、突然自分が人ではないかもしれないという感覚におそわれる。どこか人間離れをした母、仕事人間の父、マザコンの兄、誰にも相談できずに思い悩んでいたある朝、母親が消えたと父から知らされる。ちまたで聞か化け狐のうわさ、白い狐の出現、樟葉に手を差し伸べる不思議な少女は何を知っているのか。左京区北区を舞台に観光の華やかなイメージとは異なる京都のリアルに出会える怪異でミステリーな物語です。

安倍晴明などの実在の人物をはじめ、九尾の狐や酒吞童子などの有名な妖怪の、京都に昔から残る伝説がわかりやすく紹介されています。一見難しそうな専門書？といった雰囲気の本ですが、それぞれの伝説伝承の解説が短くまとまっているので、気になるところから読んで面白いです。大きな神社仏閣だけではなく、言われてみないと気づかないような祠や石にも、怪異の歴史がねむっています。旅のコース案も掲載されていますので、地図を頼りに、あなたの近くの不思議な歴史を訪ねてみませんか。

『京都妖怪紀行 ——地図でめぐる 不思議・伝説案内』

村上健司／著
角川書店(角川新書)



『京都西陣なごみ植物店』 仲町六絵／著 PHP研究所(PHP文芸文庫)

京都府立植物園の新米職員・神苗が桜吹雪の舞う園内で出会ったまるで春の女神のような女性は、自称「植物の探偵」！？植物に関する謎を解いていく日常系ほのぼののミステリー連作短編集です。逆さまのチューリップはどこに咲いていたのでしょうか？蛍の集まる草とは一体どんな植物？織田信長公にゆかりのある食材でお菓子を作りたいのだけれど...？などなど植物探偵への依頼を通して、植物と歴史の知識が楽しく身につく小説です。

京都市左京図書館
住所 〒606-8103 京都市左京区高野西開町5

電話番号 075-722-4032
開館時間 平日 午前9時30分～午後7時30分
土曜日・日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時
休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)

京都市岩倉図書館
住所 〒606-0013 京都市左京区岩倉下在地町16

電話番号 075-702-8510
開館時間 月曜・木曜・午前9時30分～午後7時
水曜・金曜・土曜・日曜・祝日 午前9時30分～午後5時
休館日 年末・年始(12月29日～1月4日)